

広島の国保

ひろしまの

# 国保

2025年

No.829

# 秋



特集 広島わがまち協育隊

## 福祉の横断組織で 課題を共有、解決

安芸太田町地域福祉  
ネットワーク協議会(安芸太田町)



みんなの健康相談室

COPD(慢性閉塞性肺疾患) | 見逃されやすい肺の病気

歩いて発見!わくわくWalk

竹原市 文化と建築を味わう  
「安芸の小京都コース」

● 国保連合会事業報告  
令和7年臨時総会

● 広島県国保診療施設協議会事業報告①  
第51回広島県国保診療施設地域医療学会

● 広島県国保診療施設協議会事業報告②  
令和7年度歯科保健研修会



今月の表紙

### 竹原市

江戸時代の風情が残る「たけはら町並み保存地区」。重要伝統的建造物群保存地区に指定され、散策に最適なエリアです。

## Contents

挨拶

### 2 理事長就任のご挨拶

特集

### 3 広島わがまち協育隊 | 02

## 福祉の横断組織で課題を共有、解決

安芸太田町地域福祉ネットワーク協議会（安芸太田町）



報告

### 6 国保連合会事業報告 令和7年臨時総会

### 9 広島県国保診療施設協議会事業報告① 第51回広島県国保診療施設地域医療学会

### 12 広島県国保診療施設協議会事業報告② 令和7年度歯科保健研修会

連載

### 13 みんなの健康相談室 第2回 COPD (慢性閉塞性肺疾患) 見逃されやすい肺の病気

### 15 歩いて発見!わくわくWalk 第2回 竹原市 文化と建築を味わう「安芸の小京都コース」

### 17 国保連合会の主な行事予定 令和7年10~12月 実施状況 令和7年6月16日~令和7年9月15日

### 18 Special Thanks

# 高垣廣徳東広島市長が理事長に就任しました。

任期は令和7年7月30日から令和9年7月29日までの2年です。



## 就任のご挨拶

広島県国民健康保険団体連合会

理事長 高垣 廣徳

この度、令和7年7月30日付けで、広島県国民健康保険団体連合会理事長に就任いたしました東広島市長の高垣廣徳でございます。

日ごろから皆様方には、国保・介護保険事業等の健全な運営にご尽力をいただき、深く敬意を表しますとともに、本会の事業運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

長年にわたり理事長を務められました入山欣郎大竹市長の後任として、重責を全うして参る所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

皆様ご承知のとおり、我が国の医療保険は、国民皆保険制度のもと、誰もが安心して医療を受けることができる医療体制を実現して参りましたが、少子高齢化の進展や、医療費の増大、更に昨今の諸物価上昇の影響など、医療保険財政は年々厳しさを増しております。

こうした中、国においては、「審査支払機能に関する改革工程表」に基づき、審査基準等の統一やシステムの共同開発・共同利用に向けた取組を進めるとともに、「医療・介護DXの更なる推進」として、全国医療情報プラットフォームの構築等に取り組むこととされております。

このような状況の中、本会といたしましては、基幹業務である診療報酬等の審査支払業務の適正・確実な実施はもちろんのこと、医療・介護DXなどの社会の変革にも的確に対応し、保険者サービスの更なる質の向上に取り組んで参ります。

今後も、保険者の共同体として、医療・保健・介護等を通じ、地域社会へ貢献できる組織を目指して参りますので、保険者及び関係者の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

令和7年9月



高垣理事長の就任に際し、国保会館において、レセプトの画面審査等の業務視察及び職員との懇談を行いました。



# 福祉の横断組織で 課題を共有、解決

安芸太田町地域福祉ネットワーク協議会(安芸太田町)

高齢化や人材不足に悩む地域で、どう福祉を支え続けるか。安芸太田町では、社会福祉法人や病院、株式会社、行政などが連携した「安芸太田町地域福祉ネットワーク協議会」が動き出しました。就職フェアや介護福祉士養成講座、見回りカーなどの実践を通じ、地域共生社会をめざす取り組みが広がっています。



右から会長の藤川真さん、事務局の戸田佑樹さん、副会長の前誉宗さん

その流れを受け、令和4年7月に「安芸太田町地域福祉ネットワーク協議会(以下、ネットワーク)」が設立されました。事務局は安芸太田町社会福祉協議会(以下、社協)

安芸太田町は人口約5,200人、高齢化率約52%(令和7年7月末現在)と全国的にも高い水準で高齢化が進み、小中学生は約200人にまで減少しています。こうした社会構造の変化に対応し、既存制度では拾いきれない地域ニーズに公益的に応えることが社会福祉法人に求められてきました。

全ての福祉関係機関が参画



事務局がある安芸太田町社会福祉協議会



「単独での人材確保や事業運営が、今後もさらに難しくなると思われる」と前副会長



「コロナ禍を経て、連携の重要性を再認識した」と藤川会長



就職フェアに合同出展



会議で課題を共有

が担い、町内の社会福祉法人、医療法人社団、株式会社、公益社団法人など8団体が参画し、行政もオプザーバーとして参加しています。

根底には「地域共生社会」の理念があります。これは世代や分野を超えて住民と関係機関が支え合い、誰もが安心して暮らせる地域をめざす考え方です。初期の会議では「制度の狭間にある支援」「生活困窮者への対応」「人材確保」などが議題となり、各団体が経験に基づく意見を共有しました。副会長の前誉宗さん（指定障害者支援施設戸河内あすなろ園 次長）は「介護施設連絡会や介護支援専門員協会など分野ごとの連絡会はありませんが、町内の福祉関係機関が全て参画する会は初めてで、意義のある取り組みです」と話します。

### 人材確保に向け合同出展

ネットワークの特長は、会議にとどまらず実際の活動を伴う点です。人材確保策として広島市内の就職フェアに合同出展し、参画法人のパンフレットを取りまとめ、来場者には事業所見学ツアーを実施

し、現場を直接体験できる機会を設けています。会長の藤川真さん（特別養護老人ホーム寿光園 施設長）は「単独では難しかった採用活動も、ネットワーク全体で取り組むことで町全体の人材確保力が高まります。仕事と住まいを一体的に支援するため、地域協働課と連携し町営住宅の情報も提示しています」と語ります。

人材育成では、介護福祉士の養成講座を町内で開設する計画を進めています。これまでは広島市まで通学しなければならず、距離的な負担が大きな障壁でした。また、コロナ禍で一時的に可能となったオンライン研修が終了する見込みであることから、町内での開講や送迎支援など受講環境の整備が検討されています。



「福祉関係機関の一体感を地域に伝えていきたい」と戸田さん



見回りカー。見守りステッカーは、住民にネットワークの活動を認知してもらう役目も果たしています



「資格取得は人材の長期定着に欠かせない要素です」と藤川会長。行政と協力し、地域に根ざした人材育成の仕組みづくりを進めています。



最大の強みは「顔が見える関係」です。全体会議以外でも日常的に情報交換が行われ、自然な連携が育まれています。就職フェアや資格取得支援といった活動も、この信頼関係があつてこそ実現しました。さらに、専門職が分野を越えて協力することで、支援が届きにくい人にも手を差し伸べる体制が整いつつあります。その結果、「安芸太田町で暮らし続けたい」という住民の思いを支える基盤が

### 顔が見える関係性を構築

住民が相談しやすい環境づくりとして「見回りカー」も導入しました。各施設や事業所の公用車に「福祉に関する相談などお気軽にお声がけください!」と表示したシートを掲示し、住民が声をかけやすい体制を整えています。事務局の戸田佑樹さん(社協福祉推進課長)は「一つの事業所では難しい課題も、連携して補い合えるのが魅力です。就労支援や資格取得支援、見守り活動に取り組むことで、地域全体の包括的な福祉推進につながります」と期待を込めます。

強まりました。運営の柱は、①社協を事務局に据えて現場と制度をつなぐこと、②社会福祉法人に限らず多様な機関を巻き込むこと、③仕事・住まい・学びを一体的に支援することの3点。これらは他の自治体でも実現可能な取り組みであり、他地域の参考にもなるモデルです。積み重ねてきた信頼を土台に、地域の実状に即した支援を形にする活動は、「安心して暮らし続けたい」という住民の願いに応えるものです。今後も関係機関が力を合わせ、丁寧に取り組みを重ねていくことが、町の将来を支える基盤づくりにつながっていきます。



令和7年7月23日(水)国保会館

## 令和7年臨時総会

# 令和6年度事業報告、決算など可決・承認



会員総数27名のうち26名が出席(委任を含む)。提出された議案は全て原案のとおり可決・承認されました

開会にあたり、入山欣郎理事長が、「国においては、『審査支払機能に関する改革工程表』に基づき、審査基準等の統一やシステムの共同開発・共同利用に向けた取組を進めるとともに、『医療・介護DXの更なる推進』として、全国医療情報プラットフォームの構築等に取り組むこととされています。本会といたしましたも、令和7年3月に国保側での審査基準を統一するとともに、訪問看護レセプトのオンライン化に向けた取組等、国における医療DXの推進にも対応したところがございます。また、令和6年度は税制改正への対応のため、書面による臨時総会により必要な議決をいただくなど、皆様方のご協力により、本年3月に本会の事業が非課税事業として厚生労働大臣の証明を受けることができたところでございます」とあいさつを述べました。

議事に先立ち、長年にわたり国民健康保険の運営に多大な御功労のあった方々に対し、理事長表彰が行われ、今年度は広島県国民健康保険診療報酬審査委員会委員2名、広島県国民健康保険柔道整復療養費審査委員会委員1名、国民健康保険運営協議会委員1名、広島県国民健康保険団体連合会職員6名の計10名の方々が表彰され

ました。

続いて、橋本博明安芸太田町長が議長に選出され、議事録署名者に寺尾光司府中町長と原正広島県建設国民健康保険組合理事長が指名され、議事に入りました。議事においては、令和6年度事業報告及び決算の認定に係る2議案について事務局から説明を行うとともに、監事の松本太郎廿日市市長から監査報告が行われ、審議の結果、原案のとおり可決されました。また、任期満了に伴う役員を選任に係る議案について審議し、原案のとおり可決されました。



議長を務める橋本安芸太田町長



監査報告をする松本廿日市市長

その後、総会を一時中断して開催された新理事による理事就任者協議会では、理事長に高垣廣徳氏（東広島市長）、副理事長に吉田隆行氏（坂町長）及び松本太郎氏（廿日市市長）、常務理事に守田利貴氏（本会常務理事）が互選されました。

総会再開後、入山理事長が退任のあいさつを行い、「理事長在任中におきましては、大過なくその任を果たせましたのも、副理事長、理事並びに監事の皆様、会員の皆様のお力添えの賜物と、心より感謝申し上げます。新たに理事長に就任される高垣東広島市長は、国保連合会の舵取り役にふさわしい方で、優れたリーダーシップを発揮していただけるものと思っております」と、関係者への感謝と新理事長への期待の言葉を述べました。

続いて、新しく理事長に選任された高垣東広島市長が就任のあいさつを行い、「本会におきましては、医療・保健・介護・福祉業務を総合的に支援できる組織を目指し、各種業務に取り組んで参りま

したが、現在、国において医療・介護DXが進められるなど、取り巻く情勢は大きく変化しております。このような時期に理事長という大役を仰せつかり、責任の重大さを痛感しておりますが、皆様のお力添えをいただき、微力ながら懸命の努力を傾注する所存です」と決意を述べました。



退任あいさつをする入山理事長



理事長の就任あいさつをする高垣東広島市長

## 議決事項

- 総第1号議案 令和6年度事業報告の認定について
- 総第2号議案 令和6年度決算の認定について
- 総第3号議案 役員の選任について

## その他（報告事項）

- (1) 手数料見直し検討の状況について
- (2) 国保総合システムに係る令和8年度国庫補助の要求について

議事終了後、その他として、事務局から手数料見直し検討の状況と、国保総合システムに係る令和8年度国庫補助の要求について報告を行いました。

最後に、高垣副理事長が、「本会といたしましては、引き続き、基幹業務である診療報酬等の審査支払業務の適正・確実な実施に努めるとともに、保険者支援の更なる充実・強化を図って参る所存です」と述べ、臨時総会を終了しました。

議決事項等については、次のとおりです。

広島県国民健康保険団体連合会理事長表彰被表彰者名簿(敬称略・50音順)

広島県国民健康保険診療報酬審査委員会委員

在職6年以上

日域 淳一郎 久持 邦和



表彰を受けられる  
日域淳一郎氏

広島県国民健康保険柔道整復療養費審査委員会委員

在職6年以上

石原 良太郎



表彰を受けられる  
小田光範氏

国民健康保険運営協議会委員

在職20年以上

小田 光範



表彰を受ける職員

広島県国民健康保険団体連合会職員

在職20年以上

加藤 匡 木村 聡美 黒岩 恵美  
土井 恵 中川 由美 山田 智一

広島県国民健康保険団体連合会役員名簿(令和7年7月30日現在)

役 職 名	職 氏 名	職 氏 名
理 事 長	東 広 島 市 長	高 垣 廣 徳
副 理 事 長	坂 町 長	吉 田 隆 行
	廿 日 市 市 長	松 本 太 郎
常 務 理 事		守 田 利 貴
理 事	広島県健康福祉局長	北 原 加 奈 子
	広 島 市 市 長	松 井 一 實
	呉 市 市 長	新 原 芳 明
	福 山 市 市 長	枝 廣 直 幹
	三 次 市 市 長	福 岡 誠 志
	熊 野 町 町 長	三 村 裕 史
	北 広 島 町 町 長	箕 野 博 司
	世 羅 町 町 長	奥 田 正 和
	神 石 高 原 町 町 長	入 江 嘉 則
	広島県歯科医師国民健康保険組合理事長	山 崎 健 次
監 事	竹 原 市 市 長	今 榮 敏 彦
	府 中 市 市 長	小 野 申 人
	安 芸 太 田 町 町 長	橋 本 博 明

【任期】令和7年7月30日から令和9年7月29日まで

(敬称略)

令和7年8月30日(土) 広島市文化交流会館

## 第51回広島県国保診療施設地域医療学会



令和7年8月30日(土)、広島市文化交流会館において、第51回広島県国保診療施設地域医療学会が開催されました。当日は、医師や看護師、理学療法士など地域医療関係者約160名が参加(ウェブを含む)。講演やパネルディスカッション、研究発表などが行われ、地域医療の現状と今後の方向性を確認しました。

### プログラム

- ◆開会式・表彰式
- ◆招待講演「最近の医療と国民健康保険の動向について」
- ◆学会長所感「地域包括ケアシステムと中山間地域高齢者のウェルビーイング」
- ◆特別講演「ポスト2025年の地域包括医療・ケア」
- ◆パネルディスカッション「BCPと地域包括ケアシステムについて」
- ◆研究発表《口演発表5演題》
- ◆閉会式



国保診療施設の理念と地域包括医療・ケアの推進について述べられた来嶋学会長



開会のあいさつをされた広島県国民健康保険診療施設協議会の平谷会長

今回で第51回を迎える本学会は、国保診療施設をはじめ、市町が設置する診療施設等の地域医療関係者の相互研鑽を図るとともに、住民の健康増進と地域医療の確保に寄与することを目的として開催されました。

開会にあたり、広島県国民健康保険診療施設協議会の平谷祐宏会長は、国保診療施設が医療従事者不足や地域の人口減少といった課題を抱えながらも、地域包括ケアシステムの先駆者として地域医療を確保してきたことを強調し、「経済財政運営と改革の基本方針(骨太方針)に期待を込めながら今後の動向を注視しつつ、諸制度の変化に的確に対応するとともに、今後も関係機関



表彰を受けられた11人を代表し、庄原市立西城市民病院の岡井耕平氏が登壇されました

と密に連携し、住民が安心して暮らせる地域づくりの中核を担ってまいりたい」と述べました。その後、来嶋也寸無学会長があいさつし、続いて来賓祝辞や表彰式が行われました。

午前の部では、厚生労働省保険局国民健康保険課の唐木啓介課長による招待講演、来嶋学会長による所感、全国国民健康保険診療施設協議会の小野剛会長による特別講演が続きました。

午後からはパネルディスカッションが行われ、大規模災害発生時に地域包括ケアを維持・充実させるための方策が議論されました。その後、研究発表では5演題の口演発表が行われました。

招待講演

「最近の医療と国民健康保険の動向について」

【講師】厚生労働省 保険局 国民健康保険課 課長 唐木啓介氏  
 【司会】全国国民健康保険診療施設協議会 会長 小野剛氏



唐木課長はまず、人口減少や高齢化が進む日本の現状に対し、社会保障制度の全世代型への転換、地域共生社会の実現、DXの推進といった対応策の必要性を強調されました。続いて、国民健康保険制度が抱える課題と、その解決に向けた取り組みについて説明。国民健康保険診療施設への助成については「①施設・設備整備、②へき地診療所運営費赤字補助、③直診特別事情の3つがあります。令和6年度からは、代診医の確保や医学教育費用の支援、マイナ保険証の利用促進費用なども追加されました」と解説されました。さらに、地域ごとの医療需要の変化や在宅医療の重要性に触れ、2040年に向けて医療資源を効率的に配分するための体制づくりの方向性を示されました。



「有用な情報をありがとうございます。国保直診には多くの助成メニューがあるものの、現実にはあまり活用されていない部分があります。今後、国診協としても各施設にPRをしっかり行い、活用を促していきたい」と小野会長。

学会長所感

「地域包括ケアシステムと中山間地域高齢者のウェルビーイング」

第51回 広島県国保診療施設地域医療学会 学会長 來嶋也寸無氏



來嶋学会長ははじめに、2025年問題に向けて、自治体や医療業界が地域包括ケアシステムの構築に取り組んできたことを説明されました。そして、地域住民のニーズに応じて連携してきた一方で、中山間地域や離島、へき地ではさまざまな課題があることを指摘。具体的には、老々介護や認知症患者の増加、独居高齢者の増加などを挙げられました。

続いて、客観的ウェルビーイング指標（平均寿命や健康寿命など数値化できるもの）と主観的ウェルビーイング指標（個人の感覚や認識によるもの）の違いを説明され、これまでの地域包括ケアシステムが客観的指標に重点を置いていた可能性に言及されました。そして、デンマークの高齢者施設を視察した経験を紹介され、「今後は個人の趣味や人権を尊重し、主観的指標にも注目することで、よりきめ細かく質の高い地域包括ケアシステムを実現できるのではないか」と提言されました。

特別講演

「ポスト2025年の地域包括医療・ケア」

【講師】全国国民健康保険診療施設協議会 会長 小野剛氏  
 【司会】第51回 広島県国保診療施設地域医療学会 学会長 來嶋也寸無氏



小野会長ははじめに、昭和・平成・令和の各時代における医療と介護の関係性の変化について説明され、ポスト2025年の人口問題から考える2つの課題として「生産年齢人口の急激な減少」と「85歳以上人口の急激な増加」を挙げられました。小野会長は「医療・介護ニーズが2040年にピークを迎える一方で、医療・介護・福祉の従事者は100万人不足します」と指摘し、「この課題に対して、シニア世代の活躍や働き方改革、タスクシェア、AIとDXの活用による生産性向上が求められます」と話されました。

次に、在宅医療の提供体制構築の重要性を強調し、「退院後や日常の療養支援、急変時・看取りへの対応が必要です。今後、中小規模の国保直診病院は在宅療養支援病院・診療所の認定を取得することで、地域包括ケアシステムの中核的な役割を担い、活躍の場がさらに広がると考えています」と期待を示されました。

また、国保直診の運営に関わる国の動向として、新たな地域医療構想や医師偏在対策、医療DX・オンライン診療を紹介され、「新たな地域医療構想の協議では、地域包括ケアシステムの観点から、国保直診ならではの意見を積極的に発

信してください」と呼びかけられました。さらに、リカレント教育の支援として、国診協も日本病院会や全国自治体病院協議会と共同でプログラムを作成し、厚生労働省の認定を受けたことを報告されました。

続いて、ポスト2025年の状況として、高齢者二人世帯と独居高齢者の増加、認知症患者の増加などに伴い、「治す医療」だけでなく「治し、支え、寄り添う医療」が重要であり、多職種連携と地域包括ケアシステムの構築が不可欠だと強調されました。そして「住民一人ひとりが住み慣れた地域で、生き生きと心豊かに暮らすことができるウェルビーイングを育む地域づくりには、国保直診の役割が非常に重要です」と締めくくられました。



講演の最後に、司会の來嶋学会長は「2025年から2040年に向けての展望を分かりやすくお話いただくとともに、今後、私たちがどのような方向に進んでいくべきかを示していただきました」と結ばれました。

パネルディスカッション

「BCPと地域包括ケアシステムについて」

[司会]

北広島町雄鹿原診療所

所長 **東條 環樹 氏** (左)

安芸太田病院

看護部長 **山岡 由香里 氏** (右)



[発表者]

三原市大和診療所  
前所長  
**藤家 証一 氏**

藤家前所長は2018年の西日本豪雨災害での経験を共有し、BCP(事業継続計画)がない状態での災害対応について説明されました。当時、診療所では交通・情報網の遮断や上水道の断水に直面しながらも、創意工夫と地域の支援により診療を継続できたことを報告。そして、BCPがあれば情報収集や役割分担がもっと効率的に行えたかもしれないと振り返り、「作成の際には、現状把握から始め、災害を想定した思考実験を行い、職員全体で話し合い、近隣施設や地域とのすり合わせを行うことが重要です」と話されました。



[発表者]

ほっと・はあとステーションでのひら  
居宅介護支援事業所でのひら  
所長  
**越部 恵美 氏**

越部所長は訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所の立場から、西日本豪雨災害時の経験を報告されました。情報伝達の難しさやガソリン・水など物資の不足、移動の困難といった教訓に基づき、BCPは単に事業所内の業務継続計画にとどまらず、その先にある地域との連携が不可欠であると強調。「平時からの連携は、災害時の支援を円滑に進めることにつながります。日頃の考えや行動の積み重ねが、いざという時の判断力や行動力に直結するため、継続して取り組むことが非常に大切です」と結ばれました。



[発表者]

県立広島病院  
救命救急センター  
センター長  
**楠 真二 氏**

DMAT(災害派遣医療チーム)のメンバーでもある楠センター長は、災害時の医療需要と供給のバランスの崩壊を「災害」と定義し、災害拠点病院や「防ぎ得た災害死を減らす」を目標とするDMATの役割について説明されました。続いてDMATの組織化を表すCSCA(指揮・統制、安全、情報伝達、評価)という概念や、被災状況に応じて、医療機関が取るべき行動について説明。「災害時の膨大なニーズに効率的に対応するためには、普段から医療機関や多職種が連携し、顔の見える関係を構築しておくことが重要です」と強調されました。



[助言者]

広島県健康福祉局  
局長  
**北原 加奈子 氏**

「広島県では、過去の災害を乗り越えてきた経験があり、本日のように相互に情報を共有し学び合える環境が整っているからこそ、災害への事前準備をより充実させる体制が築かれているのではないかと考えます。県の研修も活用しながら、BCPの策定や“生きた計画”としての更新を進めていただきたいと思います。また、災害対応が長期に及ぶことも十分想定されます。職員の方々が健康を損なうことなく取り組める体制についても、改めてご検討をお願いします」と北原局長。



[助言者]

全国国民健康保険  
診療施設協議会  
会長  
**小野 剛 氏**

はじめに小野会長は、「BCP策定や日頃からの訓練、災害の各フェーズにおける支援の在り方など、多くの学びがありました」と3名の発表者に謝辞を述べられました。そして、能登半島地震での支援経験を共有し、災害の各フェーズで可能な範囲の支援を行うことの重要性を学んだと説明。「地域において住民の誰一人取り残さない災害対策をしっかりと立て、それを実践していくことが重要です。国診協が開催するBCP研修会にもぜひご参加ください」と締めくくられました。

閉会式



第51回  
広島県国保診療施設  
地域医療学会

副学会長  
**東條 環樹 氏**

東條副学会長は閉会にあたり、「皆さまの発表や熱心な討議を拝見し、平常時はもとより困難な状況においても、それぞれの立場から地域包括ケアシステムを実践されていることを実感しました。今後も研鑽を重ねていただき、地域医療のさらなる充実と発展に向けてご尽力くださいますようお願い申し上げます」とあいさつされました。

研究発表《口演発表5演題》

5名が登壇し、臨床や臨床検査、診療施設の運営・管理など、日夜研鑽された研究について発表があり、活発な質疑応答も行われました。また、ウェブでは22演題の収録発表も行われました。



[座長]

公立世羅中央病院  
看護部長 **永田 綾子 氏**

[発表者]

地方独立行政法人府中市病院機構府中北市民病院  
看護部長 **徳田 明美 氏**

庄原市立西城市民病院  
理学療法士 **石田 希 氏**

公立みつぎ総合病院  
看護師 **澤井 砂璃 氏**

安芸太田病院  
臨床検査技師 **佐藤 奈緒子 氏**

公立世羅中央病院  
整形外科・医師 **大川 新吾 氏**

令和7年7月11日(金) 国保会館

## 令和7年度歯科保健研修会

### むし歯の包括的予防戦略を学ぶ

開会にあたり、広島県歯科保健部会長である公立みつき総合病院の占部秀徳診療部長があいさつを行い、「小児への地域歯科保健活動が、高齢者への歯科保健活動と併せてより重要になってきます。本日の研修を地域活動に生かし、健康増進につなげてください」と述べられました。続いて、来賓の広島県歯科医師会の山崎健次会長が「講演内容の一つであるフッ化物洗口は、今後普及を進めるべきだと

考えています。この研修で得た知識を歯科保健活動に役立ててください」とあいさつを行いました。

#### 講演 むし歯予防を再考する 〜琵琶湖より愛をこめて〜

竜王町国民健康保険診療所(歯科) 所長 小島 宏司 氏



来賓のあいさつをされた山崎会長



開会のあいさつをされた占部診療部長

小島宏司所長が竜王町国民健康保険診療所に赴任した当初、同町では小児のむし歯が非常に多く、滋賀県内でもワーストに近い水準でした。「地域格差を解消するには、次々に新しいむし歯が生まれる構造を変える必要がある」と決意した小島所長は、治療中心から予防中心へと方針を切り替え、小中学生のむし歯を劇的に減らすことに成功されました(令和4年の中学1年生一人当たりの永久歯むし歯経験歯数は0.04本)。

講演ではまず、むし歯の発生メカニズムを解説され、「むし歯は歯みがきが下手だからなる病気ではな

く食生活の乱れからなる病気(食生活習慣病)である。歯垢が生成され、歯が溶ける原因となる酸が発生するのはそもそも糖を摂取するからで、甘味制限することが一番重要」と述べられました。喉が渇いた時は甘い飲み物ではなくお茶を飲む「竜王チャチャチャ運動」を提唱し、町ぐるみの取り組みに発展させた経緯についても紹介されました。

続いて、フッ化物応用の重要性や作用機序、使用方法について説明されました。「フッ素は自然界に広く分布し、極少量ながら人体にも含まれます。世界保健機関(WHO)や国連食糧農業機関(FAO)も必須栄養素として位置づけています」と述べられ、フッ素には「歯の再石灰化を促進」「歯の結晶構造を安定化」「細菌による酸の発生を抑制」する働きがあり、「フッ化物配合歯磨剤は歯みがきの補助的なものではなく、積極的な予防剤として使用すべきです」と強調されました。

さらに小島所長は「むし歯予防は歯科医療者だけでなく、学校や行政、地



効果的なむし歯予防を紹介された小島所長

域など多様な人々が連携し、正しい知識を共有し、科学的根拠のある健康政策を策定することが大事である」と言及。効果的な予防のためには学校における集団フッ化物洗口の普及、社会の変化に応じた予防策の柔軟な見直しが必要であると示されました。

#### 報告 国診協歯科保健委員会の活動について

国診協歯科保健委員会 委員長  
公立みつき総合病院 診療部長  
占部 秀徳 氏

国診協歯科保健委員会の活動について、占部委員長は「地域住民のための一生にわたる包括的口腔ケアの普及推進」を基本方針に、ウェブ研修や学会前日の国保直診、口腔保健研修会など情報発信を継続して行っていること、各ブロックでの歯科保健部会の設置と活動が順次行われ始めたこと、さらに、歯科衛生士を対象としたLINEグループも立ち上げていることを紹介されました。そして、「現場の声を、研修内容や提言に反映する仕組みづくりを進めています。未登録の方は、ぜひ参加してください」と呼びかけ、「各地域、各施設の協力を得ながら、地域に根差した歯科保健の推進を図っていきましょう」と強調されました。

# みんなの健康相談室



## 第2回 COPD (慢性閉塞性肺疾患)

息切れや長引く咳の陰に潜むCOPD(慢性閉塞性肺疾患)。今回は、マツダ病院の大成洋二郎さんに、病気の特徴や治療のポイント、予防法などを聞きました。

マツダ病院

大成 洋二郎さん

1999年大分医科大学(現大分大学医学部)卒業。広島大学呼吸器内科助教を経て、2012年よりマツダ株式会社マツダ病院に勤務。日本呼吸器学会専門医・指導医、広島大学医学部臨床教授。



## 見逃されやすい肺の病気

**Q** COPDはどのような病気ですか？

**A** COPD(慢性閉塞性肺疾患)は、空気の通り道である「気管支」が狭くなり、肺の奥にある「肺胞(はいほう)」という袋状の組織が壊れてしまう病気です。これにより呼吸の効率が落ち、息切れや慢性的な咳、痰(たん)が続くようになります。

さらに肺胞が壊れると、吸い込んだ空気を十分に吐き出せない状態になります。これが「エアトラップ(空気の捉え込み)」と呼ばれ、進むと、空気をうまく吸うこともできなくなり苦しくなります。特に動いたときに強い息切れが起こるようになります。COPDは徐々に進行するため気づきにくく、QOL(日常生活の質)を大きく下げる病気です。病気の初期段階では自覚症状がほとんどなく、呼吸機能がかなり低下してから咳や痰、息切れといった症状が現れることが多いため、診断時にはすでに病状がかなり進行しているケースが少なくありません。

**Q** どのような人がなりやすいのでしょうか？

**A** COPDの最も重要な原因はタバコであり、日本人のCOPD患者の95%以上が喫煙者です。特に20〜30年以上タバコを吸い続けた60歳以上の人に多く見られます。タバコを吸う人全員がCOPDになるわけではなく、約15%から20%の喫煙者が発症するといわれています。また、喫煙率の男女比では、高齢者世代で男性が圧倒的に喫煙しているため、

### COPDの定義

タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することなどにより生ずる肺疾患であり、呼吸機能検査で気流閉塞を示す。気流閉塞は末梢気道病変と気腫性病変がさまざまな割合で複合的に関与し起こる。臨床的には徐々に進行する労作時の呼吸困難や慢性の咳・痰を示すが、これらの症状に乏しいこともある。

(一般社団法人日本呼吸器学会:COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第6版、P10)

COPD患者は圧倒的に男性が多いです。タバコ以外にも、大気汚染や受動喫煙、職業性の粉塵や化学物質への曝露、バイオマス燃焼煙などもリスク因子とされています。近年では、子どもの頃の肺炎や喘息などの「小児期の呼吸器感染症」もCOPDの要因になることが分かってきました。さらに、妊娠中に母親が喫煙すると、タバコの有害物質が血流に乗って胎児に影響を及ぼし、出生後に肺機能が弱いままで成長するケースがあるともいわれています。

**Q** 治療法には何がありますか？

**A** 一度壊れてしまった肺胞や肥厚した気管支が元通りになることは、基本的にありません。喫煙を続ける限り進行するため、禁煙が最も重要な治療の柱となります。

薬物療法としては、狭くなった気管支を広げる吸入薬(気管支拡張薬)が中心となります。代表的なのが「ラマ(長時間作用性抗コリン薬・LAMA)」や「ラバ(長時間作

## COPDにおける全身併存症と肺合併症

### 全身併存症

COPDは、肺固有の疾患であると同時に全身性炎症性疾患でもある。COPDの気流閉塞の程度にかかわらず、併存症の有無が、増悪頻度の増加、身体活動制限、予後の悪化に影響を及ぼす可能性がある。特に、人口の高齢化に伴い、身体活動性を維持するために、フレイルやサルコペニアの早期発見、介入が必要である。

- 全身性炎症
- 不安・抑うつ・認知症
- 骨格筋機能障害・サルコペニア・フレイル
- 閉塞性睡眠時無呼吸
- 代謝性疾患（糖尿病など）
- 消化器疾患・胃食道逆流症・嚥下障害
- 骨粗しょう症
- 貧血 など
- 心血管疾患

### 肺合併症

肺合併症は、COPDと併存して肺に生じる疾患を示す。

- 喘息（ACO）
- 肺炎
- 肺高血圧症
- 気腫合併肺線維症（CPFE）
- 肺がん
- 気胸 など



（一般社団法人日本呼吸器学会：COPD（慢性閉塞性肺疾患）診断と治療のためのガイドライン第6版、P35-42より作成）

用性β2刺激薬・LABA」と呼ばれる薬で、これらを組み合わせることもあります。これらの吸入薬を使用することにより、息切れの改善や咳、痰の減少が期待できます。吸入薬は正しく使わないと効果が出ません。そのため、吸入指導が非常に重要で、薬剤師や医療スタッフが

**A** COPDは「全身性炎症性疾患」ともいわれ、肺以外にも症状が現れるようになります。

**Q** 合併症もあるそうですね。

フによる丁寧な指導や定期的な確認が不可欠です。

**A**

禁煙が最も重要な予防法です。タバコをやめた時

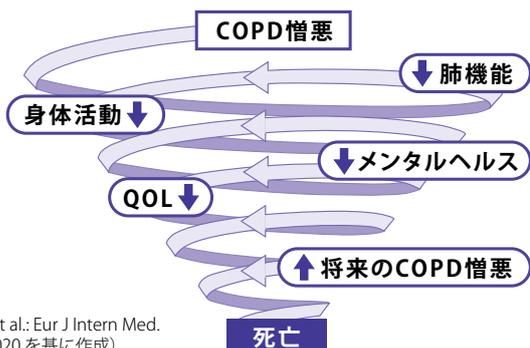
**Q**

どのように予防できますか？

す。肺に起きた炎症物質（炎症性サイトカイン）が血流に乗って全身に回り、さまざまな臓器に影響を及ぼすからです。特に多い併存症は高血圧、心不全、糖尿病。その他にも骨粗しょう症、フレイル、サルコペニア、不安・抑うつ、閉塞性睡眠時無呼吸、胃食道逆流症、貧血などの併存症があるといわれています。また、COPDは「急性増悪」と呼ばれる急な悪化を起こすことがあります。これが心血管イベント（心筋梗塞、狭心症、心不全、脳卒中など）の発症リスクを高めることが報告されています。

高血圧や糖尿病の治療中の方では、COPDが併存している場合、心血管イベントや増悪による入院のリスクが高まることが示されています。高血圧や糖尿病の患者さんの中に、COPDが隠れているケースは少なくないため、息切れや長引く咳がある場合は注意が必要です。

### COPD増悪の負のスパイラル（イメージ図）



（Hurst JR. et al.: Eur J Intern Med. 73: 1-6, 2020 を基に作成）

点から、呼吸機能の低下の進行スピードは喫煙しない人と同じくらい穏やかになります。

COPDの増悪は、呼吸機能の悪化やQOLの低下、生命予後に悪影響を及ぼすため、増悪の予防も非常に重要です。

咳や息切れが気になる方は、「年のせい」や「タバコを吸っていたから仕方ない」と放置せず、早期に医療機関を受診し、検査・診断を受けましょう。

# 文化と建築を味わう

## 「安芸の小京都コース」

**安芸の小京都コース**  
 距離:約3km 所要時間:約1時間  
 トイレ お土産 パーキング  
 ※コースタイムには若干の休憩時間も含まれています。  
 ※歩行の際はお車にご注意ください。

第2回 竹原市

歩いて発見!

# わくわく Walk

**まちなみ竹工房**  
 竹原の伝統工芸「竹細工」の体験施設。職人による実演や、竹を使った小物づくりが楽しめます。

藤井酒造—酒蔵交流館—



**竹鶴政孝・リタ像**  
 ウィスキーの父・竹鶴政孝と妻リタの像は、竹原の歴史と国際的なロマンを感じられるスポット。記念撮影にもおすすめです。



**旧森川家住宅**  
 主屋や土蔵などが当時のまま残されており、豪商の暮らしぶりを今に伝えます。敷地内にカフェを併設。

竹原市  
 3 歴史民俗資料館

2 普明閣(西方寺)

今号の表紙スポット

1 旧笠井邸

5 道の駅たけはら

**たけはら観光案内所**  
 地図や観光スポット、モデルコースなどの情報が充実。初めての人も安心して町歩きが楽しめる、心強い出発点です。



### まち自慢 グルメ

#### 魚飯(ぎょはん)

焼いた白身魚のほぐし身と錦糸卵、シバエビなど彩り豊かな具をのせ、魚の骨でとっただし汁をかけて味わう混ぜご飯です。一時は姿を消した「幻の料理」でしたが、古い新聞記事をもとにレシピが再現され、市内の飲食店でも提供されています。



**広域 MAP**

山陽自動車道 山陽新幹線 JR 山陽本線 JR 呉線

高屋JCT 河内IC 上三永IC 本郷駅 大乘駅 忠海駅 安芸津駅 竹原駅 吉名駅 風早駅

安芸の小京都コース



## 町並みに伝統が息づく

竹原市は、江戸時代に製塩業や酒造業で栄えた商人の町です。平安時代に京都・下鴨神社の荘園だったことから、「安芸の小京都」と呼ばれています。その象徴である町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれ、往時の繁栄を今に伝える家々が美しく残されています。

保存地区の主要エリアは、本町通りを中心に、大小路や板屋小路などで構成されます。これらの通りには、NHK連続テレビ小説『マッサン』のモデル・竹鶴政孝の生家である竹鶴酒造や、ハート型の格子で知られる旧松阪家住宅などが立ち並び、町全体が文化財のようです。また、竹原市歴史民俗資料館や竹細工を体験できるまちなみ竹工房もあり、地元文化に触れる楽しみもあります。

秋の恒例イベント「たけはら憧憬の路〜町並み竹灯り〜」もぜひチェックを。今年は10月25日(土)・26日(日)に開催。そうそくのやさしい光が町並みを幻想的に照らします。



竹原市企画部  
産業振興課  
商工観光振興係  
岡 夢佳さん

### 1 旧笠井邸



明治初期に塩田経営者の邸宅として建てられた歴史ある建物です。立派な梁や屋根などが見応えあり、2階からは町並み保存地区の眺望も楽しめます。

☎10:00~16:00  
休不定  
☎0846-22-0214

### 2 普明閣(西方寺)



町並み保存地区を見下ろす高台に立つ西方寺の観音堂です。京都・清水寺を模した舞台造りが特徴で、竹原の町並みを一望できる絶景スポットとして知られています。

☎8:00~18:00

### 3 竹原市歴史民俗資料館



江戸時代の郷塾「竹原書院」の跡地に建てられた洋館で、館内では町に繁栄をもたらした製塩業の歴史や資料を展示しています。

☎10:00~16:00(入館は15:30まで)  
休火曜日(祝日は開館)、12月27日~1月3日  
☎0846-22-5186

### 4 藤井酒造一酒蔵交流館



1863年創業の老舗酒蔵が営む観光施設。江戸時代の酒蔵を改装した空間で、日本酒「龍勢」などの試飲や竹細工・酒器の購入ができます。併設のそば処も人気。

☎11:00~16:00  
休月曜(祝日の場合は翌日)、1月1日  
☎0846-22-5158

### 5 道の駅たけはら



新鮮な野菜や地酒、竹細工など、竹原市の特産品が豊富にそろい、お土産選びにぴったり。食事処やレンタサイクルもあり、散策の拠点として便利なスポットです。

☎9:00~17:00(食事処は10:30~14:30)  
/火・水曜日は10:30~16:00  
休第3水曜(祝日の場合は翌日)、12月31日、1月1日~3日  
☎0846-23-5100

## 運動しよう!

第2回

### 下半身の運動

転倒を予防するには、下肢の筋力と柔軟性の維持が重要です。日々の継続が効果を高めます。

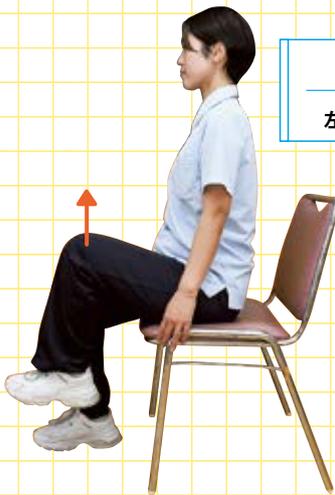


医療法人 光臨会  
荒木脳神経外科病院  
理学療法士 本庄 心さん

#### もも上げ

左右20回×3セット

椅子に浅く腰掛け、両手で座面を支えてバランスを取りながら、左右交互に膝を高く持ち上げる。腰を反らせないよう注意。



#### 股関節のストレッチ

左右20秒×3セット

椅子に座り、片足の足首を反対側の膝の上のせる。背筋を伸ばし、息を吐きながら上体を前に傾け、呼吸を続けながら姿勢を維持する。



※無理のない範囲で行いましょう。  
※痛みがある場合は控えましょう。

10月 7日(火)	【広島県保険者協議会】データヘルスに関する研修会【実践編】 ケアプラン点検支援事業(北広島町)(ウェブ開催)	国保会館 —
10月 8日(水)	ケアプラン点検支援事業(熊野町)(ウェブ開催)	—
10月10日(金)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る担当者研修会	国保会館
10月中旬	【広島県国保診療施設協議会】介護保険制度、看護・介護・地域リハビリテーション合同部会(ウェブ開催)	—
10月18日(土)~22日(水)	国保診療報酬審査委員会・合議	国保会館
10月22日(水)	【広島県在宅保健福祉活動者の会】第2回専門部会研修会	国保会館
10月23日(木)	柔道整復療養費審査委員会・合議	国保会館
10月24日(金)	介護給付費等審査委員会・合議 市町等苦情処理ブロック別連絡会議(北部ブロック)	国保会館 三次市
10月28日(火)	ケアプラン点検支援事業(坂町)(ウェブ開催)	—
10月31日(金)	ケアプラン点検支援事業(府中市)(ウェブ開催)	—
11月 4日(火)	ケアプラン点検支援事業(竹原市)(ウェブ開催)	—
11月 5日(水)	ケアプラン点検支援事業(神石高原町)(ウェブ開催)	—
11月 5日(水)~ 7日(金)	徴収職員専門研修「徴収担当者のための民法」	国保会館
11月 7日(金)	ケアプラン点検支援事業(三次市)(ウェブ開催)	—
11月10日(月)	【広島県市町村保健活動協議会】第3回保健師部会役員会及び第2回保健師部会研修会	国保会館
11月11日(火)	【広島県保険者協議会】特定健診・特定保健指導に関する人材育成研修会【技術編】	国保会館
11月14日(金)	国保制度改善強化全国大会	東京都
11月15日(土)~19日(水)	国保診療報酬審査委員会・合議	国保会館
11月19日(水)	ケアプラン点検支援事業(安芸太田町)(ウェブ開催)	—
11月20日(木)	柔道整復療養費審査委員会・合議 介護給付費等審査委員会・合議	国保会館 国保会館
11月21日(金)	市町等苦情処理ブロック別連絡会議(広島ブロック)	広島市
11月27日(木)	【広島県市町村保健活動協議会】第3回栄養士部会役員会及び栄養士部会研修会 第4回保健事業支援・評価委員会	国保会館 国保会館
11月下旬~12月上旬	第2回監事会 第2回国保担当課長会議(ウェブ会議)	— —
12月上旬	【広島県保険者協議会】第2回専門部会(ウェブ開催)	—
12月 2日(火)	【広島県国保診療施設協議会】国保診療施設長等研修会	国保会館
12月 4日(木)	【広島県保険者協議会】保健・医療・予防等に関する研修会(ウェブ開催)	—
12月13日(土)~17日(水)	国保診療報酬審査委員会・合議	国保会館
12月中旬	第2回理事会	国保会館
12月18日(木)	柔道整復療養費審査委員会・合議	国保会館
12月23日(火)	介護給付費等審査委員会・合議	国保会館
12月下旬	【広島県国保診療施設協議会】第2回事務長研修会(ウェブ開催)	—

実施状況 (令和7年6月16日~令和7年9月15日)

6月16日(月)	【広島県保険者協議会】データヘルスに関する研修会【入門編】	国保会館	7月24日(木)	【広島県保険者協議会】第1回専門部会(ウェブ開催)	—
6月19日(木)	【広島県保険者協議会】監事会	国保会館	7月25日(金)	市町等苦情処理ブロック別連絡会議	廿日市市
6月20日(金)	第三者行為求償事務研修会(介護編)	国保会館	7月28日(月)	【広島県国保診療施設協議会】 パネルディスカッション打合せ会	国保会館
6月23日(月)	第1回事前補助監査	国保会館	7月29日(火)	【広島県保険者協議会】第2回協議会(ウェブ開催)	—
6月24日(火)	【広島県国保診療施設協議会】第1回地域医療・学術部会(ウェブ開催)	—	7月31日(木)	徴収マネジメント研修(ハイブリッド研修)	国保会館
6月27日(金)	中国地方国民健康保険事務担当者研究協議会 ケアプランデータ連携システム事業所向け説明会	山口市 東広島市	8月19日(火)	【広島県国保診療施設協議会】臨時総会(書面開催)	—
6月30日(月)	【広島県市町村保健活動協議会】第2回保健師部会役員会及び 第1回保健師部会研修会(ハイブリッド開催)	国保会館	8月22日(金)	市町等介護サービス苦情処理担当者研修会	国保会館
7月 1日(火)	第1回国保担当課長会議(ウェブ開催)	—	8月25日(月)	市町等苦情処理ブロック別連絡会議(東部ブロック)	尾道市
7月 2日(水)	介護サービス苦情処理委員会(ハイブリッド開催)	国保会館	8月27日(水)	ケアプランデータ連携システム事業所向け説明会	北広島町
7月 8日(火)	第1回監事会 【広島県国保診療施設協議会】監事会	国保会館 国保会館	8月27日(水)	介護給付適正化研修会(ウェブ開催)	—
7月11日(金)	【広島県国保診療施設協議会】歯科保健部会・研修会 第1回理事会	国保会館 国保会館	8月30日(土)	【広島県国保診療施設協議会】第51回地域医療学会 (ハイブリッド開催)録画配信 8/30~10/31	広島市 文化交流会館
7月15日(火)	【広島県国保診療施設協議会】 第1回国保診療施設事務長研修会(ウェブ開催)	—	9月 2日(火)	市町等苦情処理ブロック別連絡会議(西部東ブロック)	東広島市
7月16日(水)	【広島県国保診療施設協議会】第1回理事会(書面開催)	—	9月 3日(水)	【広島県在宅保健福祉活動者の会】第2回理事会	国保会館
7月23日(水)	臨時総会 【広島県在宅保健福祉活動者の会】第1回地区活動推進専門部会	国保会館 国保会館	9月8日(月)~10日(水)	徴収職員専門研修「国税徴収法・地方税法総則」(ウェブ開催)	—
			9月 9日(火)	柔道整復療養費等担当者研修会	国保会館
			9月12日(金)	【広島県市町村保健活動協議会】第2回栄養士部会役員会	国保会館



# Special Thanks

今月号の取材にご協力いただいた方および関係機関（順不同）

安芸太田町地域福祉ネットワーク協議会 会長	藤川真 さん
安芸太田町地域福祉ネットワーク協議会 副会長	前誉宗 さん
安芸太田町地域福祉ネットワーク協議会 事務局	戸田佑樹 さん
広島県国民健康保険診療施設協議会 会長	平谷祐宏 さん
第51回広島県国保診療施設地域医療学会 学会長	來嶋也寸無 さん
全国国民健康保険診療施設協議会 会長	小野剛 さん
第51回広島県国保診療施設地域医療学会 副学会長	東條環樹 さん
竜王町国民健康保険診療所(歯科) 所長	小島宏司 さん
国診協歯科保健委員会 委員長 公立みつぎ総合病院 診療部長	占部秀徳 さん
マツダ病院	大成洋二郎 さん
竹原市企画部 産業振興課 商工観光振興係	岡夢佳 さん
医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 理学療法士	本庄心 さん

ご協力ありがとうございました。

## 編集後記

だんだんと秋が近づき、夏の疲れが出てくる頃かと思いますが、皆さま体調はいかがですか。

小さい頃は、秋という季節に対して漠然と「静かで大人な季節」という印象をもっていました。食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、といわれるように、過ごしやすい気候のなかで味わえる楽しみがたくさんあることを知り、「自由で豊かな季節」だなぁと思うようになりました。

そして、店頭に並ぶ服も、オレンジや茶色、オリーブ色などあたたかそうな色合いと、厚手の生地のものが増えてきました。私は寒がりなので、冬になるとおしゃれよりも防寒に力を入れるようになります。夏もクーラーと日焼け対策で上着やアームカバーを着用することが多いので、適度に涼しく体温調節の必要性が少ない秋は、着たい服を着たいように着る絶好の機会です。

年々、秋は短くなっていますが、この束の間にしがみつきたいと思っています。

本号で紹介している竹原市の「たけはら町並み保存地区」に、レトロな服を着て出かけるのも素敵ですね。（安芸の秋を満喫できそうです、なんちゃって。）

皆さまにとっても、心の赴くままに過ごすことができる時間が少しでも多い秋であればいいと思います。（や）

## ひろしまの国保 【広島の国保】

2025.AUTUMN No.829  
令和7年9月25日発行(季刊)

発行/広島県国民健康保険団体連合会  
〒730-8503 広島市中区東白島町19番49号 国保会館  
TEL/082-554-0770  
発行人・編集長/岡 謙二  
編集・印刷/株式会社アドプレックス

バックナンバーも  
ご覧になれます

広島の国保ホームページ

広島 国保

検索



国民健康保険・後期高齢者医療に加入の皆さんへ重要なお知らせです。

## 交通事故など第三者行為による ケガなどの治療で健康保険を使った時は 『市町等への連絡』と 『届出』をお願いします

第三者行為（交通事故・他人のペットに咬まれた・  
傷害行為・食中毒など）によるケガなどの治療で  
健康保険を使ったときは、お住まいの市区町また  
は国保組合の窓口へ届出が必要です。



医療機関の窓口で支払った一部負担金以外の医療費は、保険者（市町・国保組合・後期高齢者医療広域連合）が一時的に立て替え、相手（損保会社等）に請求します。届出がないと、保険者の負担が増加し、保険料（税）の増額につながる場合がありますので、お住いの市区町、国保組合の窓口へ届出が必要です。

交通事故など第三者行為に該当する場合は、

まずは、**加入する保険者の窓口** にお問い合わせください。

広島県・県内市町・国民健康保険組合・広島県後期高齢者医療広域連合

詳しくは [▶▶ 広島県 第三者行為](#) [🔍 検索](#)

